

第一百十二條 第二十六條ニ掲タル法章教學法公布ノ日ニ至ルマテ現行

ノ小學校及普通學ノ法則ハ舊ニ因テ施行スヘシ教學新法今ニ至テ未タ議決セス猶舊

法ニ因ルト云

第一百十三條 刑法改定ニ至ルマテ筆記印刻繪畫ノ犯罪ニ付別法ヲ付

スヘシ

第一百十四條 千八百五十六年四月十四日ノ法ニ於テ廢ス

第一百十五條 第七十二條ニ掲タル民撰法ノ公布ニ至ルマテ下院議員

ノ撰舉ニ付キ千八百四十九年三月三十日ノ王命ハ舊ニ因テ施行

ス

第一百十七條 官吏法ノ中ニ於テ建國法公布以前施行セル所ノ官吏ノ

權利ハ特ニ之ヲ存スヘシ

第一百十九條 第五十四條ニ載タル國王及兩院議員及政府官吏ノ宣誓

ハ此建國法ノ立法官ニ因テ鈐定シ即時ニ行フヘシ

○米利堅

第六條第一節 此憲法ヲ立ル前コソナイデア―シヨ各州聯合ノ時

結フ所ノ約定及國債等ハ都テ此後ト雖モ保存スヘシ

第二節 此憲法及此憲法ヲ追テ定ヘキ合衆國ノ法度又合衆國ノ命ヲ

以テ既己ニ結フ所ノ條約或ハ將來結ヘキ條約等都テ國中ノ大法タ

ルヘシ而シテ其州ノ法度憲法之ニ乖戾スルコアルモ各州ノ裁判役

之ヲ遵守セサルヲ得ス

第三節 上ニ記載スル上下兩院ノ議員及各州議政官又合衆國及各州

ノ行政官并ニ執法官皆誓テ此憲法ヲ維持セスンハアルヲカラス然  
レ合衆國中何等ノ官職ヲ奉スルレ宗法ノ誓ヲ用ルニ及ハス

○白耳義

第三百三十八條 建國法施行ノ日ヨリ始メ建國法ニ反シタル一切ノ法  
章王命指令條例及其它ノ文書ハ之ヲ廢ス

○西班牙

第七十九條 海外ノ屬州ハ別法之ヲ統治ス

○荷蘭

附錄第一條 凡現今設立スル官廳ハ此國憲法ニ準シ之ニ代置スル官  
廳ヲ新設スルノ日ニ至ルマデ皆其權任ヲ保有ス

第二條 法律ハ建國法查正ノ故ヲ以テ終身官ノ職ヲ失タル者ニ給與  
スヘキ償金ヲ定ム

第三條 凡建國法修正ヲ公布セシキニ於テ執行ノ力ヲ有スル法律條  
例及布令ハ法ニ循ヒ之ヲ廢止スルノ日ニ至ルマテ現地ニ施行ス

第四條 應撰人ノ推薦若クハ官吏叙任ニ關シ藩主權藩主世襲ノ特權ヲ廢止  
ス其他ノ藩主權ヲ廢止シ及其權ヲ廢スルニ因テ給與スヘキ償金ハ

法律ニ由リ命令規定スルヲ得

第五條 左ノ二項ニ關スル法按ハ建國法修正ヲ公布スル後國會ノ第  
一會期ニ下附ス

第一 撰擧法及上下院ノ代議士ノ撰任ニ關スル法律

第二 州法及邑法

執政官ノ責任司法官ノ新設教育施濟ノ管理及集會結社ノ權ヲ受用スル法按ハ成ルヘク前文ニ掲ル會期ニ下附スヘシ但遲クモ其次ノ會期ニ下附スヘシ○歐洲外ニ於ル王國藩屬地及所屬地ノ管理ヲ定ル法律ハ建國法ノ修正ヲ公布スルヨリ三年内ニ起議ズヘシ

第六條 國會ノ上院議員三分一ノ第一回更撰ハ千八百五十一年九月第三ノ月曜日ニ於テシ下院議員半數ノ第一回更撰ハ千八百五十年九月第三ノ月曜日ニ於テスヘシ○議員更撰ハ第五條第一項ニ掲ル法律ニ因リ定タル順次ニ準シテ之ヲ施行スヘシ

○丁抹

丁抹ノ國憲ハ一千八百六十五年十一月七日兩院ニ於テ決定シ一千八百六十六年七月二十八日國王ノ許可ヲ得タル者ナリ

○伊太利

第八十一條 此國憲ニ抵觸スル法律ハ之ヲ廢ス

第八十二條 此國憲ハ兩院集會ノ初日ヨリ其力ヲ有ス兩院ノ集會ハ議員撰擧ノ整理スルヤ否直ニ之ヲ行フヘシ若シ集會マテノ間ニ於テ現行ノ法式ニ付キ緊急ナル時機アルモ國王ハ各種ノ規則ヲ假設スルノ權ヲ有ス裁判所ニ於テ批定及簿冊ニ記入スル方法ハ國憲布告ノ日ヨリ之ヲ廢ス

第八十三條 國王ハ此國憲ヲ施行スル爲ニ緊要ナル出版及撰擧或ハ  
邑兵又參議官ニ關スル法律ヲ制定スルノ權ヲ有ス未タ出版ノ法律  
ヲ布告セサル内ハ尙現行ノ規則ニ由ル  
第八十四條 此假則ヲ施行及遵守セシムルハ執政其責ニ任ス

第十七 雜纂

第一 教育

○佛蘭西 一千七百九十一年

第二百九十六條 共和國中初學校ヲ設ケ其生徒ニ讀書習字數術及道  
學ノ元由ヲ教ユヘシ共和政府ニ於テ其學校教頭ノ住居ノ雜費ヲ供  
備スヘシ

第二百九十七條 共和國內ニ初學校ヨリ上等ノ學校ヲ設ヘシ且二州  
ニ付キ少クモ一個ツ、ノ割合ヲ以テ其全數ヲ定ヘシ

第二百九十八條 共和國ノ全領ニ學院一個ヲ設ケ右ハ都テノ新發明  
ヲ取り集メ學術ヲ大成スルヲ擔當スヘシ

第二百九十九條 佛蘭西國ノ諸學校ハ相互ニ上下ナキ者ニシテ互ニ

支配上ノ往復ヲ爲ニ及ハス

第三百條 國民ハ隨意ニ教育及學問ノ爲メ私ノ建造所ヲ設立スルヲ得又學文術ノ進歩ニ參加スルニ於テハ自由ニ會議ヲ成スヲ得ヘシ

○佛蘭西 一千七百九十九年

第八十八條 學院一箇所ヲ設立シテ新發明ノ事物ヲ集合シ及學術ヲ進ルコトヲ之ニ委託スヘシ

○瑞士

第二十二條 聯邦ハ瑞士大學校及技術學校ヲ設立スルノ權ヲ有ス

エーデルゲルテン

第二 國祭

○佛蘭西 一千七百九十五年

第三百一條 國民ノ交リ兄弟ト同一ナルコトヲ守ラシメ及國民ヲシテ建國法國家及法律ヲ敬慕セシムルカ爲メ國祭ヲ興行スヘシ

第三 度量

○佛蘭西 一千七百九十五年

第三百七十一條 共和國ニ於テ度量ノ方法ハ同一ナルヘシ

○英吉利

卷一第三十五條 凡度量衡ハ帝國中一般ナルヘシ葡萄酒ノ量法一五穀ノ量法一麥酒ノ量法一染色劑ノ度一秤衡モ亦之ニ准スヘシ

第四 國旗

○佛蘭西 一千八百三十年

第六十七條 今般佛蘭西國ハ己ノ古來ノ旗色ヲ復用スルニ由テ以後三色印ノ外他ノ印ヲ衣服ニ付スヘカラス

○伊太利

第七十七條 國旗ヲ保守ス全國民ノ帽印ハ藍色ヲ用ユ

第五 國語

○瑞士

第九十九條 瑞士國ニ使用スル日耳曼佛蘭西以太利ノ三語ハ聯邦ノ國語トス

第六 鐵道

○獨逸

第四十一條 獨逸帝國保護ノ爲又一般必通ノ爲ニ必要ト思考スル鐵道ハ其領分ヲ通スル所ノ各國ニテ之ヲ拒ムト雖モ其各國ノ國君權ヲ害フニ非レハ帝國ノ法律ノ効力ヲ以テシ或ハ帝國ノ入費ヲ以テシ或ハ免許ヲ請負人ニ與ヘテ之ヲ造築スルヲ得ヘシ右鐵道ニ付

テハ同キ法律ノ効力ヲ以テ之ヲスプロプリエシヨビノ權鐵道ヲ民有  
 ニトスルハハ評價人ヲシテ地價ヲ積ラシメ地主ヲ與フルヲ得ヘ  
 ニ賠償ヲ與ヘテ造築スルヲ得ルノ權ヲ謂フ  
 シ○現立シタル鐵道會社ハ其鐵道ニ新築鐵道ノ接續ヲ拒ムヲ得  
 ス然レ其接續ニ關スル費額ハ總テ新築者ヨリ之ヲ支償スヘシ○新  
 築スヘキ并行ノ鐵道或ハ其他競争ノヲニ付キ妨止ノ權ヲ從前ノ鐵  
 道會社ニ與ヘタル法律ノ規定ハ帝國中之ヲ廢ス然レ既得ノ權ハ尙  
 舊ニ依ルヘシ且將來鐵道會社ノ免許ニ於テモ亦此ノ如ク妨止ノ權  
 アルヲ得ス

第四十二條 聯邦各國ノ政府ハ一般往來ノ爲ニ同形ナル網羅狀ヲシ  
 テ獨逸鐵道ヲ管理スヘキ約束ヲ立ツヘシ故ニ聯邦各國ニ於テ新築  
 ノ鐵道ハ同一ノ定式ニ據テ之ヲ造リ及器械ヲ備フヘシ

第四十三條 前條ニ據リ成ヘキ迅速ニ同一ナル普通ノ方略及器械  
 ヲ用ヒ同一ナル取締規則ヲ施行スルヲ要ス獨逸全國ノ鐵道修繕ハ  
 人民ノ危險ヲ防護シ又其方略及器械類ノ構造ヲ全備セシムルヲニ  
 付キ獨逸帝國ハ一切ノ鐵道ヲ監督スルノ權ヲ有ス

第四十四條 獨逸ノ各鐵道會社ハ聯邦各國ヲ通行スヘキ往來ノ爲ニ  
 シ及其會社ハ互ニ相整齊シタル時刻表ヲ製スル爲ニ充分ノ速力ア  
 ル乗客列車并ニ貨物ヲ輸送スル爲ニ緊要ナル載貨列車ヲ設備シ且  
 各鐵道會社ハ乗客及貨物ヲ輸送スル爲ニ直走スヘキ列車ヲ備ヘ而  
 シテ又相當シタル賃銀ヲ得テ一ノ鐵道ヨリ他ノ鐵道ニ輸送スヘキ  
 方略ヲ整備スヘシ

第四十五條 帝國ハ鐵道ノ賃銀表ニ付テ監督ノ權ヲ有ス此監督權ニ

由テ政府ノ管理スヘキコトハ左ノ二件トス

第一 成ヘキ丈迅速ニ獨逸ノ鐵道ハ同一ノ規則ヲ用ユヘキ事

第二 賃銀表ハ成ヘキ丈均一ニシテ且低價ナルヲ要ス特ニ石炭及

半燒石炭及薪木鑛物石材食鹽鐵材糞料等ノ諸物ニ於テ農作及製

造ノ要用ニ適宜ナル賃銀表ヲ用ヒ成ルヘクナレハアインブレンニ

グタリ！鐵道一里毎ニ目方百斤ニ一ブレンニグノ賃ヲ用ユヘキ

銀ヲ謂フ一ブレンニグニ凡我ニ厘ニ當ル

第四十六條 急變ノ時特ニ飢歲ノ場合ニ於テハ各鐵道會社ハ穀物粉

類豆類及馬鈴薯等ニ付テ上院ノ管轄シタル委員第八條第五鐵道郵

ノ發議ニ由リ皇帝ヨリ定ヘキ當時ノ必要ニ相當シタル格別ナル低

價ノ賃銀表ヲ設ヘシ然レ其賃銀表ハ此國憲ノ第四十五條ノ第二項

ニ記載スル所ノ諸物ニ付テノ賃銀表ヨリ低下ナルヘカラス○右ノ

規定并ニ第四十二條ヨリ第四十五條ニ至ルマテニ掲載シタル條則

ハハビエールニ於テ之ヲ用ユヘカラス○然レハビエールニ對シ獨

逸國ヲ保護スル爲ニ鐵道ヲ築キ及其要具ヲ備ルニ付テノ同一ナル

規定ヲ用ユヘキコトヲ議院ノ決定ニ由テ命令スルノ權ハ帝國ニ在リ

トス

第四十七條 獨逸國ヲ保護スル爲ニ獨逸全國ニ於テ鐵道ヲ使用スル

コトニ付テ帝國政府ノ求ハ各鐵道會社之ヲ拒マヌシテ承諾スヘシ特

ニ兵隊及軍用品ハ適宜ノ賃銀ヲ得テ輸送スヘシ

第七 電信



○獨逸

第四十八條 凡郵便及電信ノコハ獨逸帝國中諸國ノ交際ノ爲ニ同形ナル設立トシテ之ヲ整頓シ及之ヲ管理スヘキ者トス○第四條ニ記載スル所ノ郵便及電信ノコニ關スル帝國ノ立法ハ北獨逸聯邦ノ郵便局及電信局ニ施行シタル規則及右ニ關スル行政ノ規定ニ付テ之ヲ用ユヘカラス

第八 郵便

○獨逸

第五十條 皇帝ハ郵便局及電信局ヲ指揮スル最上權アリ皇帝ヨリ命シタル所ノ官吏等ハ郵便局及電信局ノ管理及施行ノ方法ニ於テモ

又該局ノ官吏等ノ適任ニ於テモ全國中同形ナラシムルハ其人等ノ義務及權利ナリトス○皇帝ハ該規則及行政ノ規定ヲ設ルノ權ヲ有シ又外國ノ郵便局及電信局トノ交通ヲ專ラ整理スルノ權アリ○郵便局及電信局ノ官吏ハ必ス皇帝ノ命令ニ遵フヘシ此義務ハ該官吏等ノ宣誓中ニ在ル者ナリ○郵便及電信ノ各局ニ於テ上等ノ官吏(原註)頭取及評議官及第一等檢査官ヲ謂フ等ヲ任命シ及各邦ニ於テ郵便局及電信局ヨリ任セラレタル監督官(原註)インスペクトル及コレクターヲ謂フヲ命スルコトハ皇帝ヨリ帝國一般ニ向テ爲スヘキ者トス右官吏等ハ皇帝ニ對シテ職務ニ付テノ誓詞ヲ宣フヘシ聯盟各邦ノ政府ノ承任ヲ得又其布告ヲナサシムル爲ニ右官吏等ヲ命シタルコトニ付テ其關係シタル國ノ政府ニ速ニ通知スヘシ○郵便局及電信局ニ在ル所ノ各官吏等并ニ郵便及

電信ノ種ヤノ事務ヲ管理スル官吏等ハ其關係シタル聯盟各邦ヨリ  
任命スヘキ者ナリ○獨立シタル郵便局及電信局ノナキ聯盟各邦ニ  
於テハ其郵便及電信一切ノ事件ハ現ニ成立ツ所ノ種ヤノ條規ニ循  
フヘシ

第五十二條 第四十八條ヨリ第五十一條ノ四箇條ニ記シタル種ヤノ  
規定ハハビエール及ウイルテンベルヅニ於テ之ヲ用ユヘカラス其  
代トシテ右二箇國ニ於テ用ユヘキ規則ハ左ノ如シ○郵便局及電信  
局種ヤノ特權ニ付キ又郵便及電信ト國民トノ關係ヨリ生スル所ノ  
種ヤノ權利ノコニ付キ又ハビエール及ウイルテンベルヅノ國內ノ  
交際ニ付テ郵便及電信ノ賃銀規則ノ外賃銀及無賃ノコニ付テ總テ  
ノ法律ハ帝國ノミニ屬ス○ハビエール及ウイルテンベルヅノ聯盟

各邦ニ非サル隣國トノ交際ニ係ラサレハ郵便及電信ノ外國トノ交  
際ニ付テノ規則ハ又帝國ニ屬スヘシハビエール及ウイルテンベル  
ヅノ聯盟各邦ニ非サル隣國トノ交際ハ昔時ノ如ク千八百六十七年  
十一月二十三日ノ郵便條約ノ第四十九條ニ循フヘシ○聯名各邦ヨ  
リ帝國ノ大藏省ニ納ヘキ郵便及電信ノ餘金ノコニ付キハビエール  
及ウイルテンベルヅノ二箇國ハ之ニ關係セサルナリ

○米利堅

第一條第十三節第七 飛脚屋ヲ建テ其道路ヲ作ル事

第九 相續

○英吉利

卷一第二條 凡侯伯及自餘ノ大夫諸士死スルキニ其嗣子已ニ成人シタル者古例ノ相續禮金ヲ出スアルハロンキハ必ス遲滯ナク其家督ヲ相續スヘシ則一侯伯毎ニ金百ポンド大夫ノ大ナル者ハ百シリング其餘小大夫諸士ハ各其大小ニ由リ必ス古來ノ慣習ノ如クナルヘシ

第三條 凡嗣子尚幼少ニシテ年ヲ歷成人ノ後ニ其家督ヲ相續スルキハ別段相續禮金ヲ要セサルヘシ

第十 後見

○英吉利

卷一第四條 凡幼少ナル嗣子ノ後見人ハ其嗣子ノ領地ヨリハ必ス條

理ノアル利益運上諸稅等ノミヲ所持シ決シテ其土地ニ屬シタル人畜器械等ヲ損害スヘカラス若シ州官又其餘ノ人ニ其土地ノ支配ヲ命シテ其土地ヲ荒シ又損害ヲ醸スキハ朕必ス其償金ヲ取上ケ其土地ハ朕ニ對シ責任ヲ有スル土地預リ人ノ思慮アル者二人ニ其支配役ヲ與フヘシ

第五條 凡後見人ハ其後見人タル間ハ必ス其土地ニ屬シタル屋舍園園兔園澤池其餘一切土地ヨリ出タル物ヲ保有シ而シテ其嗣子成人ノ年必ス其全土地及鋤鋤馬車凡其土地ニ屬シタル入用ノ品器并ニ其土地ヨリ生スル利益等一切之ヲ其嗣子ニ復還スヘシ

第十一 婚姻

○英吉利

卷一第六條 凡嗣子妻ヲ娶ルニ必ス損耗無カラシムヘシ故ニ其婚姻ハ必ス先ツ其親族ニ告ヘシ

第十二 孀婦

○英吉利

卷一第七條 凡孀婦ハ其夫死去後遲滯ナク其遺物并ニ再婚ノ權利ヲ有セシムヘシ或ハ再婚ノ權利又遺物ヲ受ン爲ニ禮金ヲ取ヘカラス又其婦ヲシテ故夫死去ノ後四十日ハ其家ニ居住シ其間ニ必ス故夫ノ遺物ヲ受シムヘシ

第八條 凡孀婦寡居セント欲スル者ハ其婚姻ヲ強成セン爲ニ或ハ其

家産ヲ押留スヘカラス但其再婚セント欲スル者ハ必ス先ツ朕直臣ハ或ハ其君陪臣ハナノ許可ヲ得ヘシ

第十三 財産

○英吉利

卷一第四十三條 凡除族上地ヲ領スル者死スレハ其嗣子相續禮金或ハ禮役ハ其舊主ニ勤タル舊例ノ外ハ決シテ之ヲ要セサルヘシ而シテ朕之ヲ保有スル規則ハ都テ其舊主ハロレノ如ナルヘシ○英ノ法律ニテ死後嗣子無キハ其土地家財悉ク之ヲ官ニ没ス之ヲ除族上地ト云之ヲ又餘人ニ領セシム

第十四 專賣

○米利堅

第一條第十三節第八 書籍及發明ニ暫ク專賣ノ權ヲ與ヘ作者并ニ發明家ヲシテ利潤ヲ得セシメ大ニ文學技藝ヲ獎勵スル事

第十五 償債

○英吉利

卷一第九條 凡債仔ノ動産其債ヲ償却スルニ足ルキハ必ス其不動産又其租銀ヲ抑留スヘカラス又債仔尙其債ヲ償却スルコトヲ得ル間ハ必ス其保證人ノ家産ヲ抑留スヘカラス若シ債仔財産已ニ竭盡シ其債ヲ償フ能ハサルキハ即チ其保證人其責ニ任スヘシ而シテ保證人

ハ其償ヲ得ルマテハ債仔ノ不動産及其租銀ヲ抑留スルコトヲ得ヘシ但保證人之ヲ願ハス及債仔已ニ免債ノ證ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

第十條 凡シユニ負債シテ死スル者其嗣子幼少ノ間ハ其嗣産ヲ以テ其債ヲ償フニ及ス若シ其債朕カ手ニ歸入スルキハ其債ノ證書ニ記入シタル動産ノ外ハ決シテ取ヘカラス

第十一條 凡シユニ負債ノ儘死スル者其孀婦ノ遺物ヲ以テ其債ヲ償フニ及ス又子女アル者ハ必ス先ツ其養育料ヲ備ヘ且其領主君ヘノ禮金ヲ濟シ然後其有餘ヲ以テ其債ヲ償フヘシ

第十六 隄防

○英吉利

卷一第三十三條 凡列イム区河并ニ英國中將來ノ堤壩ハ破壊スヘシ  
但海岸ハ此限ニ在ラス○昔シ政府用度不資收歛ノ臣百方人民ヲ苦  
シメ河渠數所ニ無益ノ堤壩ヲ築キ此ニ託シ通行スル者ヨリ稅ヲ收  
ム今此弊害ヲ改正セントス

第十七 各州

○米利堅

第一條第十五節一 何州ニテモ私ニ條約ヲ立テ盟約ヲ結ヒ或ハ聯合  
シマルクヒレプリサ止ノ令狀ヲ與ヘ貨幣ヲ鑄紙幣ヲ造ルヲ得ス國  
債ヲ拂フニハ必ス金銀ヲ用ユヘクヨルヲフアツテ一ンダ止及ヨキ  
スボストフハクトロ止或ハ金銀等貸借ノ約定ヲ壞ル如キ法ヲ立又

貴爵位號ヲ與フルヲ得ス

第四條第二節三 何州ニテモ其法度ニ從ヒ用ヲ爲シ役ヲ勤ル人若シ  
他州ニ遁ルモ其州ノ法度ニ由リ其用或ハ役ヨリ免ルヘカラス必ス  
之ヲ其用役歸スル所ノ人ニ渡スヘシ

第三節一 新州此合州部中ニ入ルヲ許スト雖モ議院并ニ其州ノ議政  
官之ヲ准スニ非レハ部中新ニ州ヲ建テ又一二ノ州相合シテ州ヲ成  
スヘカラス

第四節一 合衆部中各州ニ共和政治ヲ保タシメ而シテ各州ノ外寇ヲ  
防キ其州議政官ヨリ乞ハ、其内亂ヲ鎮ムヘシ但其官會セサルモハ  
其州ノ行政官ヨリ之ヲ乞フモ亦可ナリ

第十八 銀行

○瑞典

第七十二款 國立銀行ハ議院ノ管轄シ保證スル所ニ屬シ而シテ兩局ニテ命スル所ノ委官アリテ議院條例ヲ守リテ支配シ決シテ他ヨリ之ヲ間然スルコトヲ許サス○銀行ノ金券ヲ發出シテ王國ノ貨幣トシテ通用セシムルハ獨リ議院ノ權利ニ限ルヘシ○右金券ハ其量位ニ應シ銀行ニ於テ日限ヲ立テ或ハ金貨ニ引換ユヘシ

第十九 聯邦

○瑞士

第十三條 聯邦ハ常備兵ヲ置クノ權ヲ有セス○何レノ列邦若クハ各

半邦ト雖<sup>レ</sup>聯邦政府ノ許允ヲ經スシテ三百以上常備兵ヲ置<sup>テ</sup>ヲ得<sup>ル</sup>ス但憲兵ハ此員外ニ在リトス

第二十 列邦

○瑞士

第七條 凡列邦間ニ於テ各自ノ盟約及國事上ノ諸約ヲ結フコトハ之ヲ禁ス然レ列邦ハ互ニ立法施政司法ノコトニ關スル契約ヲ結<sup>テ</sup>ノ權ヲ有<sup>ス</sup>但此等ノ契約ハ聯邦政官ニ申報スヘシ若シ其契約中聯邦ニ背キ又他ノ列邦ノ權利ヲ妨ル條アル<sup>キ</sup>ハ聯邦政官ニ於テ其執行ヲ停止スルヲ得ヘシ否ラザル<sup>キ</sup>ハ結約シタル列邦ヨリ之ヲ執行スルガ爲ニ聯邦ノ助力ヲ請フコトヲ得

第十一條 降伏ノ契約ヲ取結フコトヲ得ス

カビチユラシオンミリテイル

第十四條 列邦間ニ爭論ノ起ルニ際シ各邦ハ自ラ手ヲ下シ若クハ軍ヲ備フル等ノコトアルヘカラス必ス聯邦政府ノ其成法ニ依準シテ下ス所ノ裁決ヲ仰クヘシ

第十五條 外國ヨリ生スル急難ノ時機ニ際シテハ難ヲ蒙ラントスル列邦政府ハ他ノ列邦ノ應援ヲ請ヒ且即時ニ危急ヲ聯邦政官ニ報知スヘシ但是カ爲ニ聯邦政官ヨリナス所ノ處分ヲ阻格スルコトヲ得ス又救ヲ求ラレタル列邦ハ必ス其請ニ應スヘシ而シテ此等ノ費用ハ皆聯邦ヨリ辨償ス

第十六條 内國又他ノ列邦ヨリ起タル騷擾ニ際シテハ難ヲ蒙ラントスル列邦政府即時ニ急ヲ聯邦行政會ニ報知シ其權限中ニ在ル須要

ノ處分ヲ爲サシメ第九十條第三項又聯邦議會ヲ召集セシムヘシ又禍難極テ急ナルニ當テハ難ニ遇タル列邦政府即時ニ聯邦行政會ニ報知シテ直ニ他ノ列邦ノ應援ヲ求ルコトヲ得而シテ應援ヲ求ラレタル列邦ハ速ニ其請ニ應スヘシ又難ニ遇タル列邦應援ヲ請フコト能ハサル狀アルキハ其求ナクモ當該ノ聯邦政官直ニ之ニ干預スルコトヲ得其騷擾全瑞士國ノ安寧ニ係ルキハ當該ノ聯邦政官必ス之ニ干預セサルヲ得ス○右干預スル時機ニ際シテハ聯邦政官宜ク第五條ニ定ル例規ニ遵フヤ否ニ注意スヘシ○右ノ費用ハ應援ヲ請フタル列邦又干預シタル列邦ヨリ辨償スヘシ但異常ノ形狀アルニ由テ聯邦議會ノ特決アルキハ此限ニ在ラス

第十七條 前二條ニ掲ル時機ニ際シ列邦ハ兵隊通行ノ自由ヲ許スヘ



シ但該兵隊ハ直ニ聯邦將官ノ旗下ニ屬ス

第五十一條 瑞士國內ニ於テ地方商貨稅甲邦ヨリ乙邦ヲ經過スヲ廢ス聯合一邦ノ民ヨリ他邦ノ民ニ對スル回復權先ニ失ヒタル權モ亦之ヲ廢ス

第二十一 貴人會社

○伊太利

第七十八條 現在スル所ノ附タシヨ賞牌等ヲ佩タル貴人會社ノ金ヲ云フヲ存續社則ニ由ニ非レハ其入額ヲ費用スルコトヲ得ス○國王ハ新ニ貴人ノ會社ヲ設ケ社則ヲ定ルノ權ヲ有ス

第二十二 一時施行

○英吉利

卷一第三十七條 凡コキウテゲ農耕ノ土地ヲ有スル嗣子并ニ陪臣大夫等ノ嗣子等ノ後見株ハ朕之ヲ保有スヘカラス云々  
○コキウテゲ等ハ皆昔土地ヲ領スル名ナリ而シテ今之アルコトナシ故ニ之ヲ略ス

第四十九條 凡内國臣民其二心無キヲ保證セン爲ニ差出シタル質子ハ悉ク其主ニ還付スヘシ

第五十條 司ラー止ノ親族ハ悉ク其縣廳ヲ退黜セシメ再ヒ之ヲシテ縣官タラシムヘカラス其餘シゴネノコシラド、カンセルノアンドリユ、ピーター及シヨン、マーテン、ゼフレ兄弟ロリッフマ

ト兄弟ヲフレヘシ及其姪并ニ彼等ノ臣隸等ハ悉ク之ヲ去ルヘシ  
○ヨラーデ以下數人ハ當時ノ權臣ナリ

第五十一條 凡國家安穩ニ歸シタレハ外國ヨリ雇タル兵卒ノ弓隊ハ  
悉ク之ヲ去ルヘシ○初メ侯伯ト爭論起リシヨリ外國ノ兵卒ヲ雇ヒ  
却テ内國人ヲ伐ツ國人益憤激ス

第五十三條 凡先王ヘヌリシ二世ヨリツチャル一世ノ時ニ命シタル  
森林ヲ廢止スルコトモ前條ノ如ク十字軍ノ後ニ評定スヘシ且陪臣死  
後嗣子尙幼少ナル時土地預リ株是マテ朕ニ屬有シタル者并ニ諸侯  
ノ地ニ在ル寺庵保管ノ權利等ハ朕羈旅ヨリ復歸ノ日直ニ之ヲ調査  
シ其愁訴人ニ十分ノ審理ヲ付與スヘシ

第五十八條 ヲウレシノ子及自餘ヨエル区ノ質子并ニ其誓約證文ハ

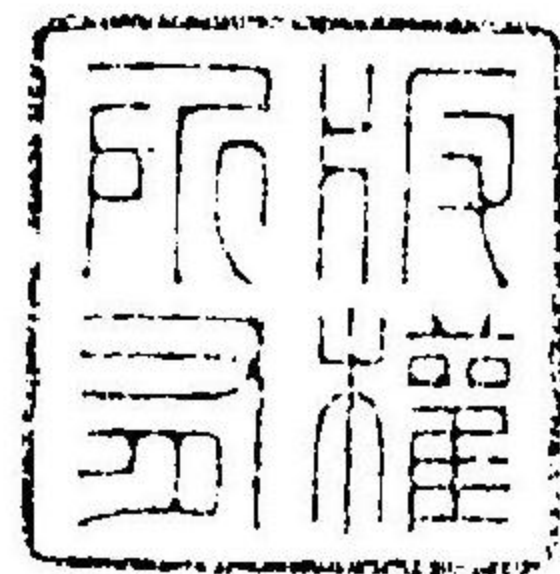
悉ク之ヲ還付スヘシ

第五十九條 朕ヲコトランド王アレキサンダルト和ヲ講シ其姉妹  
質子并ニ自由ノ權利ヲ還付スルコト都テ他ノ侯伯ヲ如クスヘシ但コ  
コトランドノ先王列非リヤムトノ契約ニ由リ他ノ侯伯ト同轍ノ  
處置スル能ハサル箇條ハ此限ニ在ラス然レ此事ハ都テ同列ノ評決  
ニ從フヘシ○餘慶遠クヨエルススコットランドニ及フ當時諸侯ノ  
公平以テ看ルヘシ

2330  
27

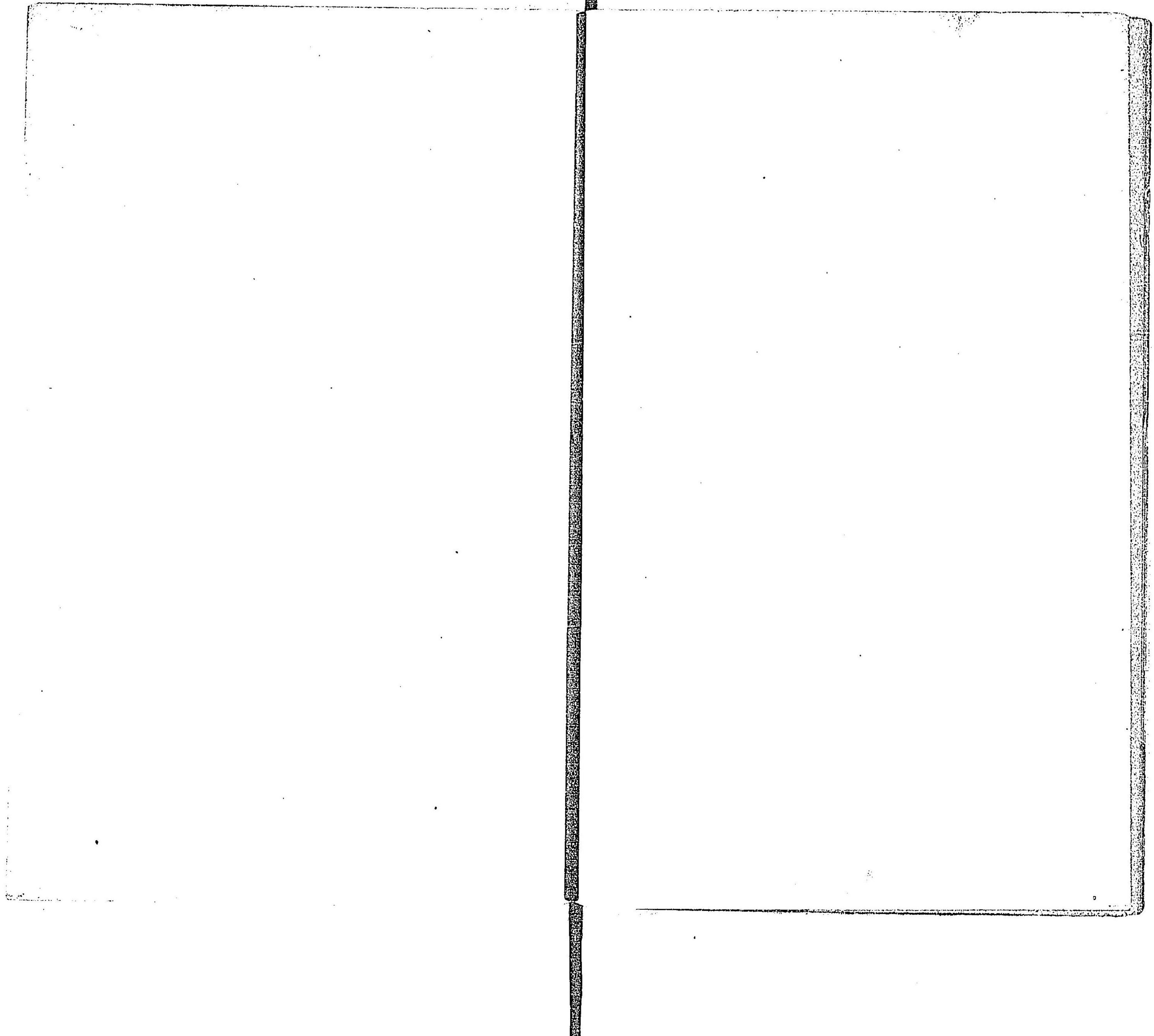
36086

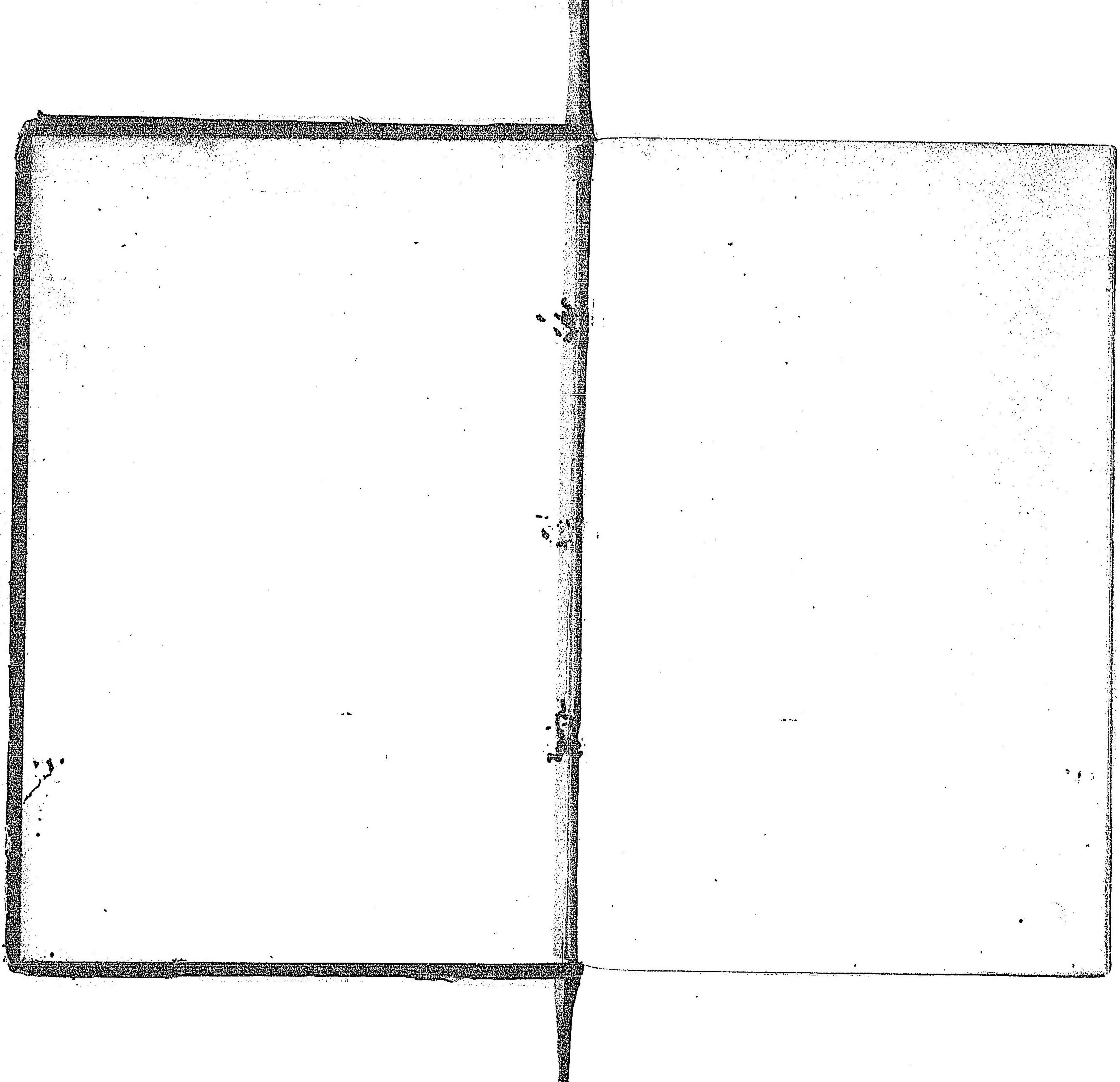
明治十四年十二月印行

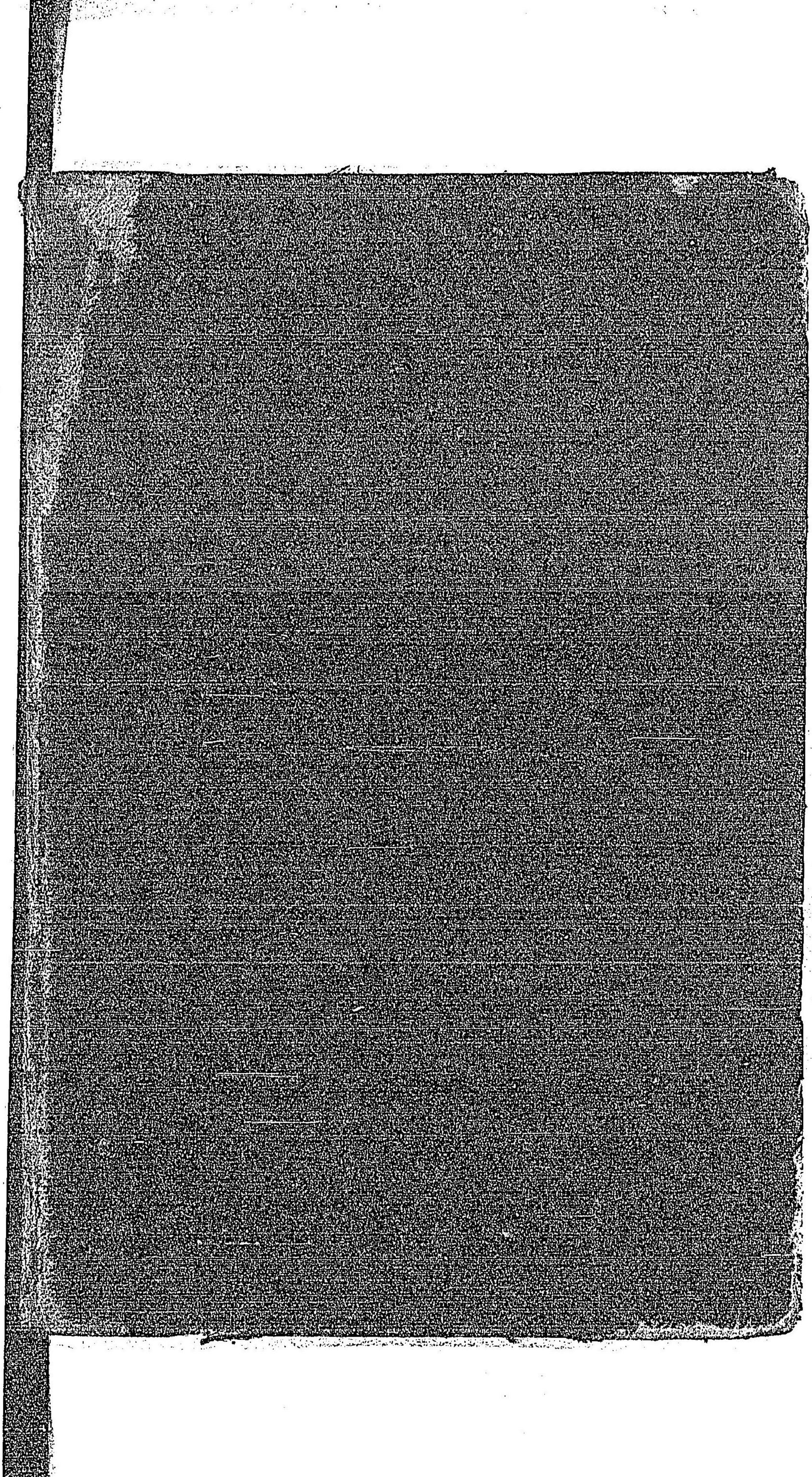


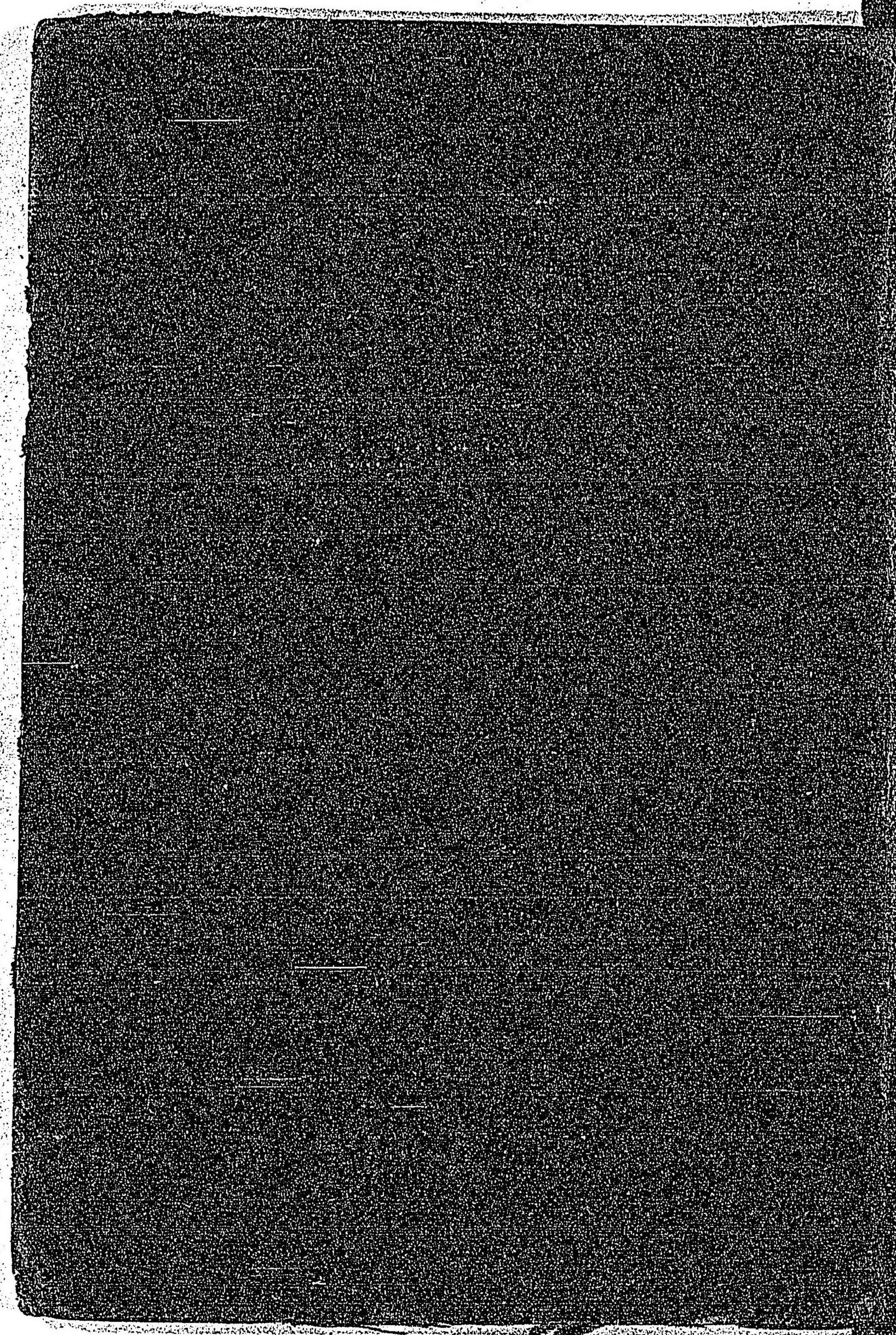
松本發賣











031459-000-1

C211-01

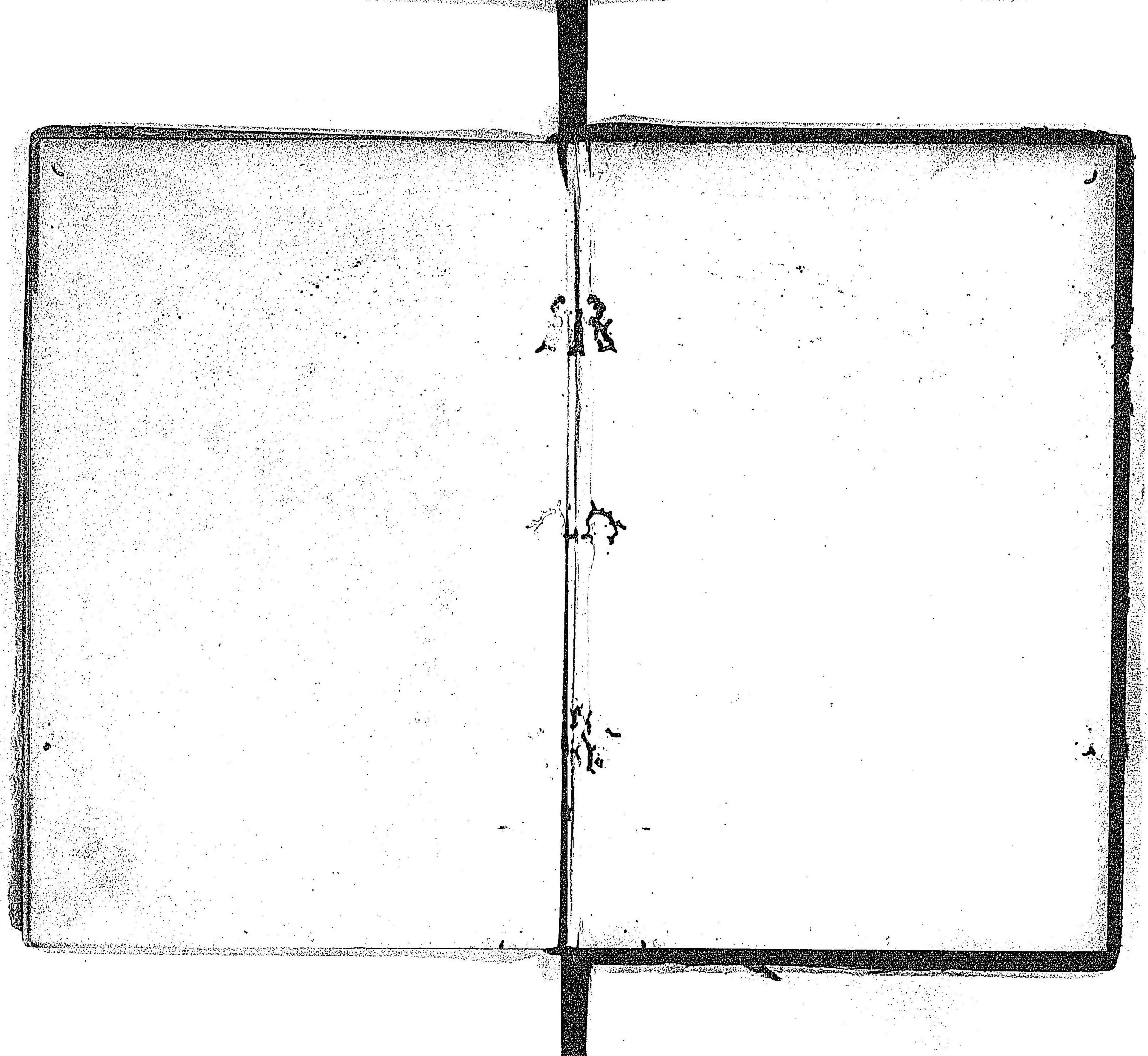
各国憲法類纂

元老院

M14

BBE-0058







海版